

第4講義 「本音で語る南海地震対策と市町村の課題」

KOCHI 自民党政経塾（第5期生）

令和2年10月17日（土）

南海トラフ地震対策は、完璧か？

- ・何が起こるかは、大体想定できる
 - 過去の南海トラフ地震
 - 東日本大震災



- ・行政の仕事を理解する
 - 災害対応は、市町村が主体。県は市町村をサポート。広域調整。
 - 「南海地震対策行動計画」第4期2019～2021年度

<重点課題>

命を守る

- 1 住宅の安全性の確保
- 2 津波避難対策の充実
- 3 南海トラフ地震臨時情報

命をつなぐ

- 4 医療救護体制の確立
- 5 避難所の確保と運営体制の充実
- 6 道路の復旧・燃料の確保
- 7 仮設住宅・廃棄物処理
- 8 長期浸水対策
- 9 要配慮者支援
- 10 備蓄や防災組織・啓発
- 11 受援体制の確立

市町村の計画は？

- ・災害廃棄物処理計画 →災害廃棄物仮置場 381ha 不足
- ・災害公営住宅建設計画 →仮設住宅建設用地 458ha 不足 →土地がない
- ・高知県震災復興都市計画 (参考) 春野総合運動公園=59.7ha

- ・初動対応。災害対策本部の運営＝豪雨災害でも見ることができる。

議員の仕事

- ・問題意識を持って、言い続ける。 行政は、単年度の予算執行という視点。議員は、長期的視点。
- ・新たな防災対策があれば、どんどんパワーアップ。 IT・デジタル技術。新たな土木工法。

<今後の予定>

第5回 11月21日（土）14:00～15:30

第6回 12月19日（土）14:00～15:30

令和3年になってから新年会 or 打ち上げ。 4月から6期生。